



令和3年度1月号
庄内教育事務所 社会教育課
お問い合わせ先 TEL:0235-68-1983
FAX:0235-66-3015

令和3年度 読育推進ネットワーク整備事業「読育推進ネットワーク研修会」

子どもと本と仲間をつなぐ研修会

～読書への楽しいきっかけ創り～



11月18日(木)に「この本だいすきの会庄内支部」の本間俊美先生を講師としてお招きして「読育推進ネットワーク研修会」を開催しました。第1部【実践交流】では、温海地区で中学生に読み聞かせの手ほどきをしている「温海絵本読み聞かせ隊ポッケ」鈴木和子さんと、鳥海八幡中学校で長年読み聞かせを行っている「八幡よみきかせ隊」瀬野千恵子さんより読み聞かせの実演をしていただきました。その後、中学生とつながったきっかけや子どもたちに接する時に大切にしていることを教えていただきました。自然体で読む素晴らしさを感じる実演と、実演だけでは伝わらない『思い』も聴くことができ、大変参考になりました。第2部【講話】では、「読書への偏見度」をチェックし、「こうでなければいけない」という偏見を持たずに、楽しいと感じる読書のきっかけを子どもたちに種蒔きできる手法を教わる事ができました。

また、子どもたちが読書を楽しむには、『読書環境の豊かさ』が必要だということで、ぜひ様々なネットワークを生かしてコラボというチャレンジしてほしいというメッセージもいただきました。

コロナ禍という状況を踏まえ、今回はグループ交流を控えましたが、次回は参加者の皆さんで語り合い、交流を深め、庄内の読育に関わる方々のネットワークをさらに広げていきたいと思ひます。(担当:後藤)



令和3年度庄内地区スポーツ推進委員協議会初任者研修会

「スポーツ推進委員の新しい役割とは」

12月5日(日)に、三川町いろり火の里 文化館なの花ホールにて、庄内地区スポーツ推進委員協議会初任者研修会が開催されました。

庄内地区スポーツ推進委員協議会副会長の金子清志氏を講師に、「スポーツ推進委員の新しい役割」と題して、講話とワークショップを行いました。講話ではスポーツ推進委員の「歴史的背景」「求められる役割」「リスク管理」の3つの内容について説明いただきました。特に、スポーツ推進委員に求められる役割は「連絡調整機能・コーディネーター機能」です。総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団など具体的な組織に応じた連携の在り方について説明いただきました。また、リスク管理では、各種イベント等開催時のリスクについて、参加者が安心して参加できるようにするために検討すべき視点を示唆いただきました。

後半のワークショップでは、研修や研究会等がコロナ禍で中止が相次いでいることを踏まえ、実際に行う上で心配されることとその対応の仕方について各グループで話し合いました。安心して参加できる研修会をつくる方法はこれからも大切な視点となります。手指消毒やスペースの確保に加え、オンライン等のデジタル技術を生かすなどの意見が出されました。

この研修会で学んだことを、各市町や地域で事業を展開する際にフィードバックしていただき、今後の生涯スポーツの推進につなげていただきたいものです。(担当:大谷)



地域と学校をつなぐ仲間たちとつながって

「地域学校協働活動推進員」という方々をご存じですか?「地域コーディネーター」と呼ばれているところもあるかもしれませんが、推進員やコーディネーターの方々は、学校と地域をつなぐ役割を担っており、地域と学校の連携・協働のキーパーソンとなっています。12月15日(水)に庄内管内で活躍されている推進員の方々が集まって、他の市町の取り組みから学んだり、推進員同士で情報交換を行ったりしました。

今回は、三川町で統括コーディネーターとしてご活躍されている佐藤正弘氏より、三川町の事例を発表していただきました。佐藤氏が学校現場に勤務された際のご経験を踏まえた大変貴重なお話でした。

情報交換では、他市町の推進員や行政担当者が一緒にグループとなり、それぞれの取り組みについてうまくいっていることや困っていることなどを共有しました。(担当:那須)



～佐藤統括コーディネーターのお話から～

- ✓ 「学校の子ども」でも「地域の子ども」でもなく「おらほの子ども」である。
- ✓ 各校担当のコーディネーターと学校の教職員の直接のつながりを重視して進めている。
- ✓ 活動後の意見交換も行うことで、今後さらによいものを共に作っていく意識をもって取り組む。
- ✓ 今やっている取り組みが、未来の三川町につながっていく。

～情報交換で話題になっていたこと～

- ◎推進員として取り組むときは...
 - ・あれもこれもしない!けど、やるときは楽しく取り組む!
 - ・自分が地域住民であることを強みに。
 - ・今までやっていることを、手を取り合って一緒にやっていく。
- ◎困っていること
 - ・学校に遠慮してしまう。(またその逆もある)
 - ・子ども達との距離感をどのくらいにしたらいのか。
 - ・自分たちのことがどこまで知られているのか不安。

やまがた伝統文化フェスタ “ふるさと芸能のつどい”



11月28日(日)に、山形市の遊学館で「やまがた伝統文化フェスタ“ふるさと芸能のつどい”」が行われました。やまがた伝統文化フェスタは、華道、茶道、けん玉等、親子で様々なジャンルの伝統文化を体験できるお祭りです。その中の「ふるさと芸能のつどい」は、県内4地区から特色のある民俗芸能団体に出演してもらい、民俗芸能の持つ豊かな魅力に触れてもらうという企画です。庄内からは庄内町の「西袋獅子踊り保存会」から出演していただきました。西袋獅子踊り保存会は、大人の踊り手、小学生、中学生の棒使い、太刀使いで構成されています。保存会会長の佐藤さんを中心に年代を超えた交流があり、全員で踊り方を確認したり、着付けを行ったり、伝統芸能を地域全体で大事にしていました。本番では堂々とした演技で会場全体から大きな拍手が上がっていました。(担当:阿部)



庄内教育事務所ホームページ

庄内教育事務所 検索



→社会教育情報

社会教育事業に関する詳しい情報を掲載しています。

